

事業概要

(新潟県：(都) 諏訪町東本町線)

応募No.	4		
事業主体	新潟県	事業箇所	新潟県柏崎市東本町地先
応募者名	新潟県柏崎地域振興局地域整備部／新潟県土木部都市局都市整備課		
ふりがな 事業	かしわざきとしけいかくどうろじぎょう すわちようひがしほんちようせん 柏崎都市計画道路事業3・4・25号 諏訪町東本町線		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、柏崎市東本町一丁目地内の都市計画道路である。平成19年7月16日に発生した中越沖地震により商店街が大きな被害を受けたため、地元関係者が中心となって「えんま通り復興協議会」を立ち上げた。新潟県では、地震により被災した商店街の復興を図るためのまちづくりの一助として、平成22年に事業認可を取得し、令和元年まで道路拡幅及び無電柱化の整備を実施したものである。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約0.2 km	
	幅員(m)	約6.0(19.0) m	
	事業期間(和暦)	平成22年度～令和元年度	
	事業費(億円)	約21億円	
受賞歴	有・ 無		
URL	—		

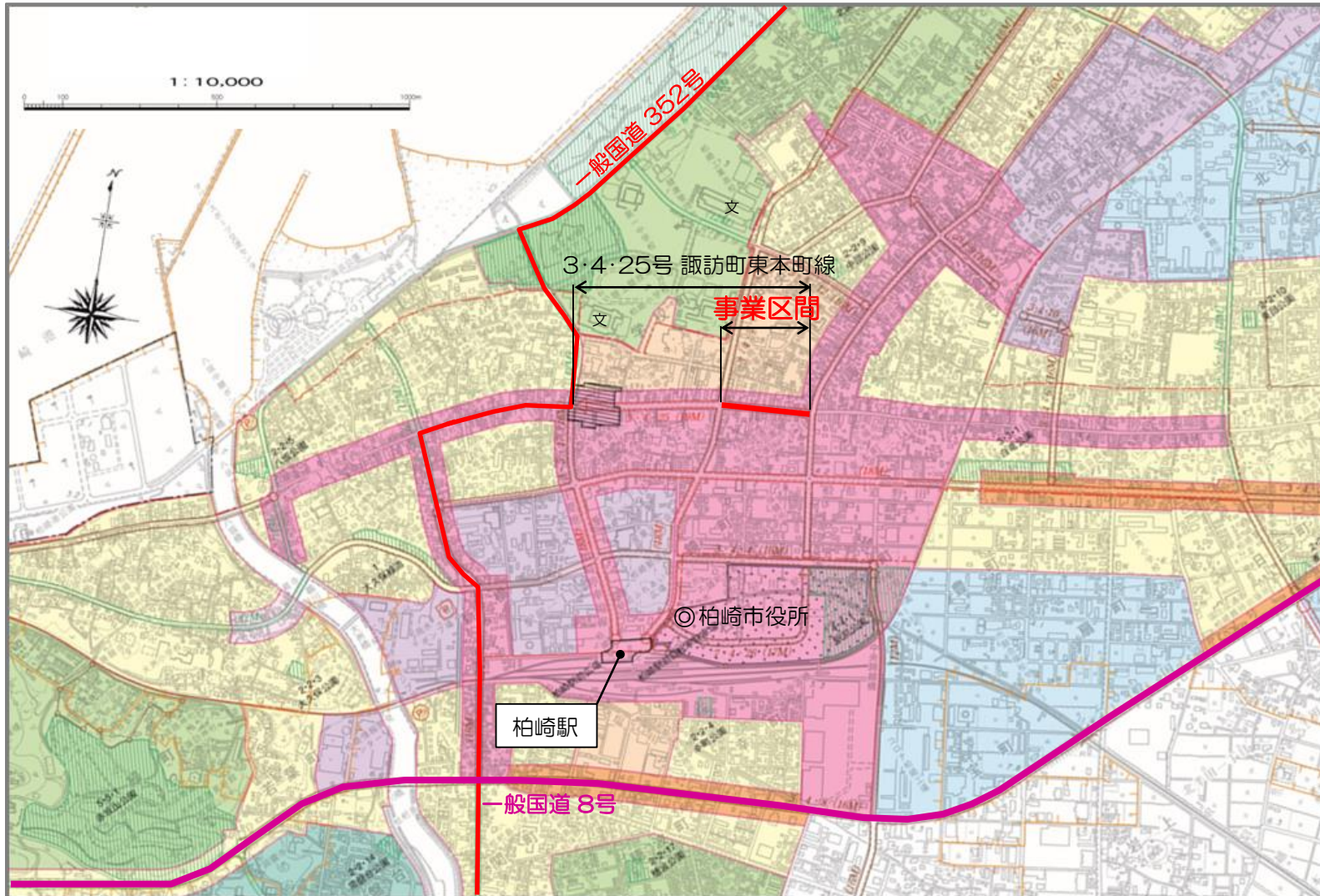
事業位置図



えんま通りのシンボルマーク
(全国886点の公募より決定)

令和4年10月撮影

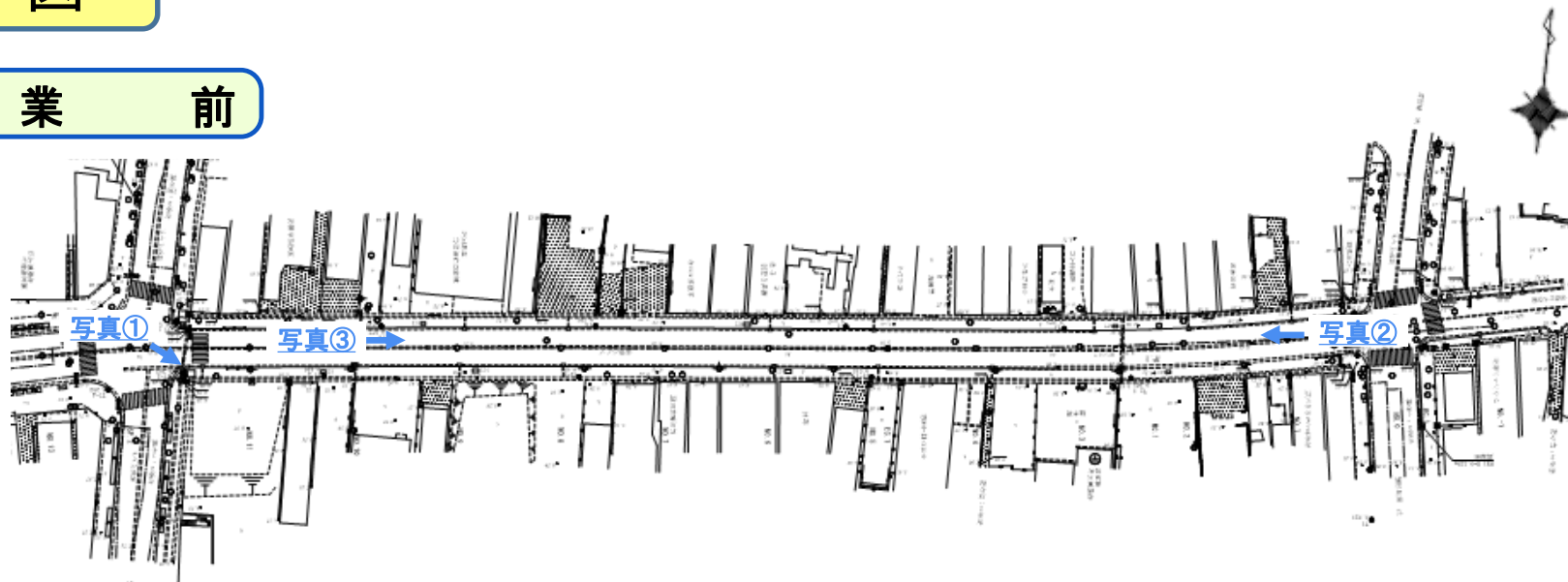
都市計画図(用途地域図)



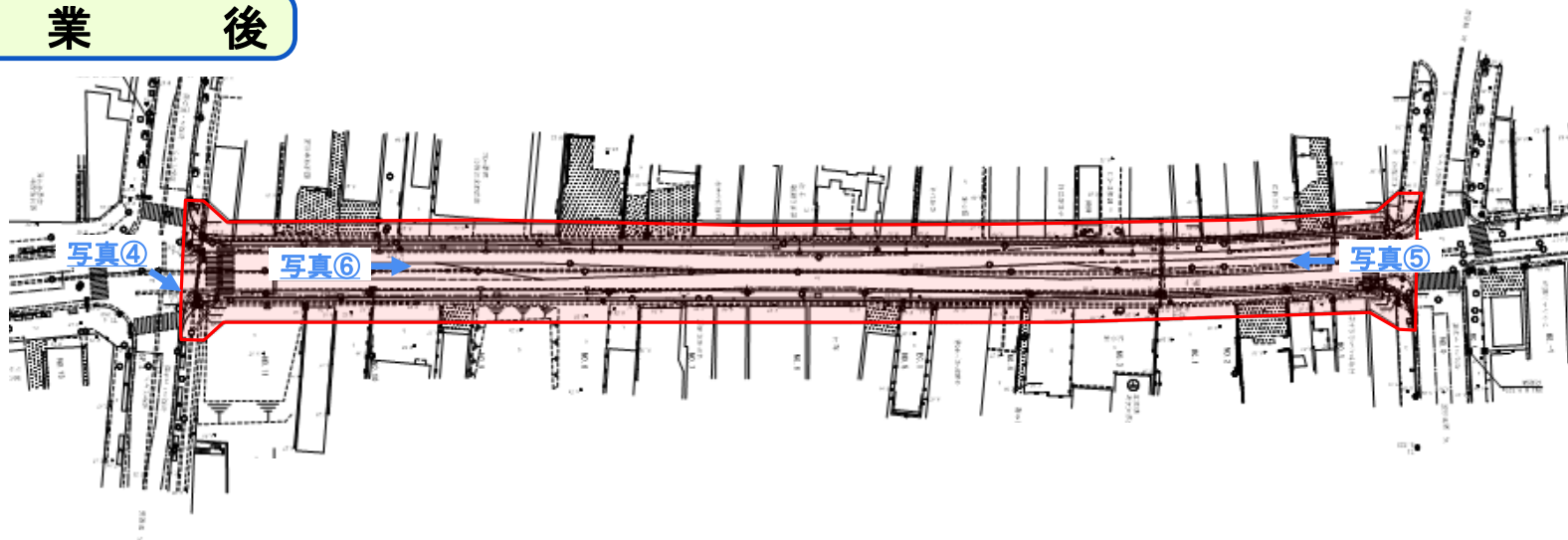
凡 例	
区 分	図 例
第一種低層住居専用地域	
第一種中高層住居専用地域	
第一種住居地域	
第二種住居地域	
準住居地域	
近隣商業地域	
商業地域	
準工業地域	
工業地域	
高度利用地区	
準防火地域	
臨港地区	
都市計画道路(幅員25M)	
都市計画道路(幅員18M)	
都市計画道路(幅員16M、17M)	
都市計画道路(幅員11M、12M)	
立体交差	
都市計画公園	
都市計画墓園	
駅前広場	
終末処理場	
中継ポンプ場	
雨水ポンプ場	
土地区画整理済区域	
第一種市街地再開発事業	
汚物処理場	
ごみ処理場	
火葬場	
人口集中地区(DID)	
駐車場	
地区計画区域	

平面図

事業前

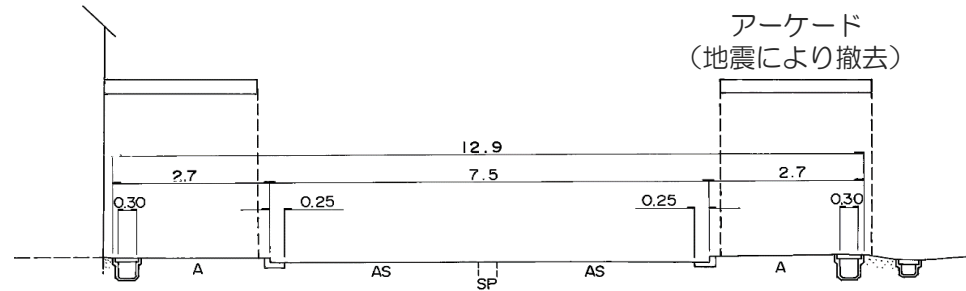


事業後

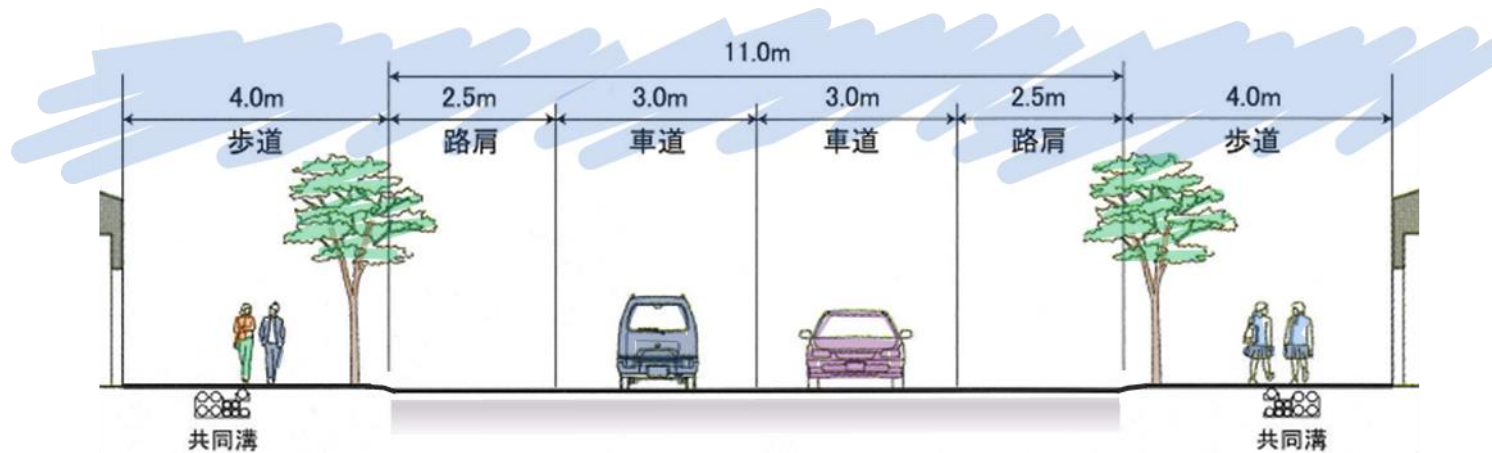


縦断面図・横断面図

事業前



事業後



事業前写真



1F部分が
倒壊した店舗と
傾いたアーケード

平成19年7月撮影(地震発生後)



被災した商店街

平成19年7月撮影(地震発生後)



平成21年2月撮影(アーケード撤去後)

事業後写真



令和4年10月撮影



令和4年10月撮影



令和4年10月撮影

事業効果アピール資料①

【商店街に空き店舗がない！】

震災後、
20店舗が新規出店

43店舗

33店舗

商店街の半数の
建物が全壊

平成19年
(震災時)

令和4年

現在(令和4年10月)、
商店街に空き店舗がない！

えんま通り商店街には個性的なお店が並ぶ！



古着屋

エステサロン

新潟B級グルメ
カレー半身揚げ



行列ができるタルト屋さん



障がい者アートカフェ

シルバーふれあいサロン やまゆり



写真 やまゆりHPより

シルバー人材の会員がボランティアで運営する全国でも珍しい直売所。高齢者にとって人気の施設で新鮮な野菜は午前中には売れ切れるほど。

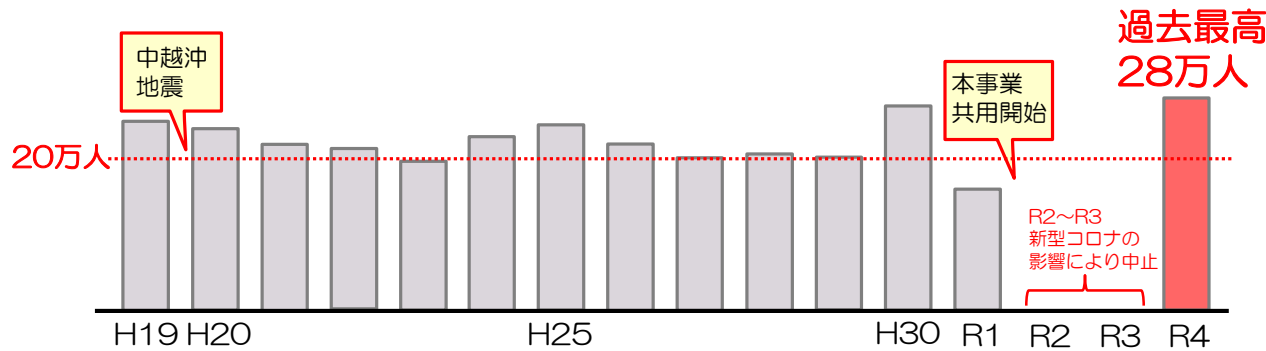
<過去受賞歴>

- 平成24年度 新潟県知事賞受賞
- 平成26年度 内閣府「社会参加章」受賞
- 令和 3年度 国土計画協会会長賞受賞

事業効果アピール資料②

【伝統行事が過去最高の人出】

本事業完了後、初めて行われた令和4年の「えんま市」では、新型コロナウイルス感染予防対策として、露店数を例年の3割弱（約140店舗）に抑えるなどの制限を行ったにもかかわらず、例年の20万人を大きく上回る、近年**最多の28万人**を記録した。



えんま市とは？
たかまち
 新潟3大高市（縁日）の一つ。
 200年以上の歴史があり、毎年6月14日から16日はえんま通り商店街を中心に約2kmの通りに約500軒の露店が建ち並びお祭り。



平成14年6月撮影
※中越沖地震前



令和4年6月撮影

事業効果アピール資料③

【商店街に関わるまちづくりプレイヤーの存在】

中越沖地震からの復興（えんま通り復興協議会など）を通じ、商店街に関わるまちづくりプレイヤー（団体）が誕生し続けている。えんま通りでは、商店街のプレイヤーが中心となって、震災から継続してイベントを行ってきた（道路の規制が伴う事業期間含む）。

＜令和4年（2022）まちづくりを行う団体＞	発足年
協同組合柏崎二丁目振興会（えんま通り商店街の組合）	昭和42年（1967）～
NPO法人 aisa	平成19年（2007）～
シルバー人材センター	平成19年（2007）～
合同会社まちづくりえんま	平成23年（2011）～
えんまテラス実行委員会	令和 3年（2021）～



新たな商店主達を中心とする「えんまテラス実行委員会」がえんまテラスを開催（道路占用許可基準の規制緩和を利用）官地（車道・歩道）と民地との境界を曖昧にした使い方を実施！



令和3年10月撮影



令和4年9月26日 新潟県

テイクアウトやテラス営業などのための道路占用許可基準の緩和措置を再延長します

新潟県では、国土交通省と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等の設備を支援する新たな営業形態として「テイクアウトテラス営業」を促進するための道路占用許可基準の緩和措置を行いました。その緩和措置の適用期間について、令和4年9月30日までとしていたところを、令和5年3月31日まで再延長することとしました。

出典：国土交通省ウェブサイト（国連17号：東京都交安第14号）

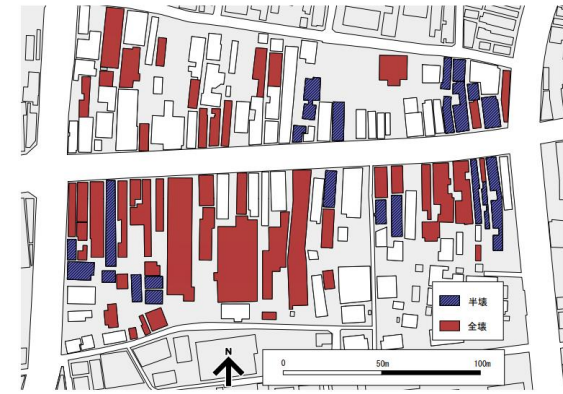
緩和措置のポイント	
内容	① 新型コロナウイルス感染症対策のための暫定的な営業であること ② 上記の回復や新しい流通様式に対応すること ③ テイクアウト、テラス営業等のため施設等の設置であること ④ 施設付近の清掃等に協力いただけること
主体	地方公共団体又は関係団体*1による一括利用*2 *1 関係団体とは、協議会、地方公共団体が受託する民間団体など *2 関係団体への申請はできません。
場所	道路の構造又は交通に著しい支障を及ぼさない場所 ※歩道、土留に於いては、交通障害が歩道3.5m以上、その他の場合は2m以上の歩行空間の確保が必要です。 ※道路幅員の確保に留意してください。
占用料	免除（施設付近の清掃等に協力いただける場合）
占用期間	令和5年3月31日まで（令和4年9月30日までを延長）

【お問い合わせ】
新潟県土木部道路管理課建設政務
〒950-8570 新潟市中央区新万町4番11号
電話：025-280-5399 FAX：025-284-5096

苦労や工夫等アピール資料①

【官・学・民協働によるまちづくり会議】

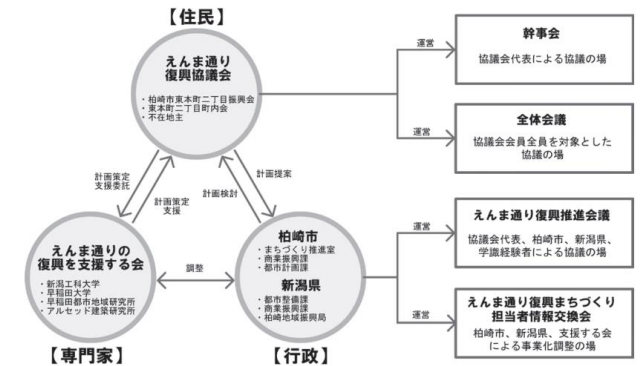
- ① 平成19年（2007）7月16日 中越沖地震によって、えんま通り商店街の半数の建物が全壊した。
- ② 早期に復興まちづくりを進める必要があり、『官・学・民協働によるまちづくり会議』など様々な会議を実施し、18項目からなる「まちづくりガイドライン」を作成した。



震災から1年8ヶ月の間に、

- ・幹事会（毎週開催）
- ・全体会議（計13回）
- ・推進会議（計7回）
- ・えんま情報交換会（毎月開催）を実施した。

- ③ 県では「まちづくりガイドライン」を街路事業に反映し、「えんま市」のような、道を広場のように利用したイベントが行える、街路デザイン「みち広場」を事業に反映した。



幹事会



全体会議



推進会議

苦労や工夫等アピール資料②

【街路デザインを事業に反映】

街路デザインの反映している項目

- 車道と歩道の境界にポラード（車止め）を設置
- 歩車道境界ブロックは段差の少ないセミフラットで全線乗り入れ用設置
- 歩道部は平板ブロックを採用
- シンボルマークの入った街灯



街路デザインパース



令和3年6月撮影

受賞歴・報道資料など



<その他>

2018年 えんま通り商店街にある閻魔堂を
舞台に映画撮影
炎の天狐 トチオンガーセブン
劇場版 閻魔堂！地獄の大決戦！！

2020年 7月16日付新潟日報にて、
えんま通りの復旧・拡幅工事を終え、
『開店に意欲、若者ら集う』の記事が掲載

(公社)都市住宅学会
2016年都市住宅学会賞業績賞
※地元協議会の取組が都市住宅に
関する優れた業績として表彰